

堺市二次医療圏における 精神疾患医療の課題

令和4年11月24日

大阪府堺市保健医療協議会

精神医療部会

依存症対策における課題

資料2-1参照

| テーマ | 課題 |
|----------------|--|
| 相談機関の周知について | 依存症の相談機関は公的機関が中心だが、知名度が高くないため、さらなる周知が必要 |
| 人材育成について | コロナ禍によって研修が実施できなかったため、研修体制の強化が必要 |
| 専門医療機関について | 市内では1か所のみ |
| 普及啓発について | 正しい知識と適切な情報の周知が不十分であるため、必要な人に治療や支援が届いていない。 |
| 市内の関係機関の連携について | 関係機関同士の連携が乏しい |

認知症施策における課題

資料2-2 参照

| テーマ | 課題 |
|------------------------|---|
| 認知症に関する理解の普及や啓発の推進について | 認知症サポーターやキャラバンメイトの増加数が若干鈍化 |
| 認知症への適切な対応と支援制度の充実について | 認知症地域支援推進員や認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等の包括的な連携 |
| | 若年性認知症に対する相談できる場所や利用できる制度の周知の強化 |
| 認知症家族等への支援や居場所の提供について | 認知症カフェの周知や運営の支援等の強化 |
| | 本人ミーティングの各区での開催への支援と、開催回数の増加 |

地域移行等施策における課題

資料2-3 参照

| テーマ | 課題 |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 地域移行（退院支援）について | 継続的な地域移行支援事業体制の整備 |
| | 新型コロナウイルス感染症の影響で茶話会の事業が実施できていない |
| | 普及啓発事業が進まず、地域との関係が希薄になった |
| 退院促進支援会議及び「にも包括」について | 新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催等になり、議論を議論を深めにくい |
| | イメージの共有ができず、意見の集積が中心となっている |
| | 地域課題の抽出が難しい |

自殺対策における課題

資料2-4参照

| テーマ | 課題 |
|------------------------|----------------|
| いのちの相談支援事業における連携強化について | 救急告示病院との連携の再構築 |
| | 庁内の連携強化 |
| 人材育成について | 着実な研修実施の体制 |
| 普及啓発について | ゲートキーパーの認知度が低い |
| | 相談窓口を知らない割合が高い |